

電気工事科 (18歳以上 定員: 25名 訓練期間: 1年) 普通課程

応募対象者	電気工事業及び関連事業への就職を希望する18歳以上の新規学卒者又は求職中の方	
訓練目標	電気は生活を支え、社会の基盤を担っている重要なエネルギーです。それはこれからの未来にも欠かすことはできません。その電気を安全に届けるために働いているのが電気工事士です。電気工事士として活躍できる知識・技能を電線の接続作業から始まりCADによる図面作成、実習用家屋において実際に電気工事を行う実習等を通じて学び、電気設備業界への就職をめざします。	
訓練風景	 <p style="display: flex; justify-content: space-around;"> 模擬家屋実習 電気配線工事実習 消防機器設置実習 </p>	
訓練教科	主な教科	教科内容
	電気理論	直流回路、単相交流回路、三相交流回路
	電気工事	電線の接続法、屋内配線工事、受変電設備の施工方法
	電力工学	電力系統の構成、環境対策、エネルギーの有効利用
	測定法及び試験法	各種計測器の使い方
	消防機器	感知器の構造及び機能、消防機器の工事及び整備
	電気機器制御実習	有接点・無接点シーケンス制御
	電気工事実習	各種施工法(ケーブル・金属管・合成樹脂管工事)
模擬家屋実習	配線工事・点灯検査	
取得可能な資格※	◆第二種電気工事士 ◆第一種電気工事士(実務経験要) ◆甲種第4類消防設備士 ◆低圧電気取扱特別教育(開閉操作のみ)	
修了後に予想される活動分野	電気設備工事業、消防設備工事業 など	
主な機械設備等	高圧受電設備、実習用模擬家屋、各種測定器、外線工事実習用電柱、消防機器(自動火災報知設備機器)、家庭用ルームエアコン	
費用	入校選考料2,200円・入校料5,650円・授業料118,800円(年額) 教科書・工具・作業服等の購入代は、概ね54,000円 資格取得のための受験料は、概ね27,000円	
その他	交通機関の学割が適用されます。 (過去の就職率) 令和元年度100%、令和2年度100%、令和3年度100%	

担当指導員から一言

スマートフォンやパソコンなどのハイテク機器や、冷蔵庫、テレビといった家電などは、全て「電気」がなければ使えません。電気工事科では、その電気を安全に送り届ける為の「電気工事」について学びます。

日常生活を支える上で必要不可欠な「電気に関わる仕事」は、電気を使う生活スタイルが変わらない限り無くなることなく、大阪だけでなく日本全国どこへ行っても必要とされる仕事です。また、電気に関わる仕事の種類も多岐にわたり、工事や施工管理、設備保全など、自分に合う仕事で活躍することができます。ぜひこうで知識と技術を身に付け、安定した業界への就職にチャレンジしてみませんか。

※◆印については、各試験実施機関が行う試験に合格する必要があります。